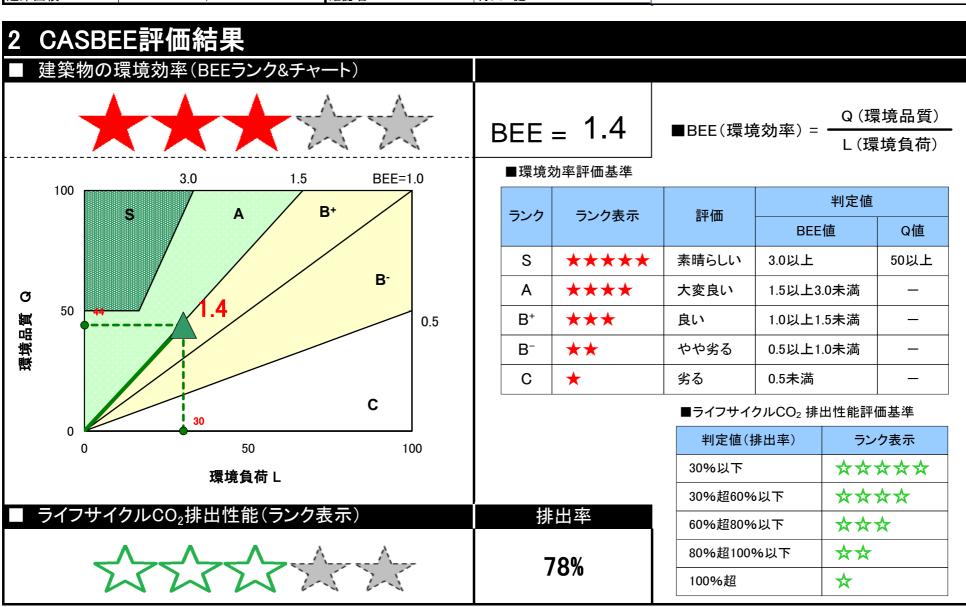
(/\SBEE[®]熊本《新築》【性能表示】

1-1 建物概要				1−2 外観
建物名称	富士ダイス株式会社熊本製造所新る	階数	地上2階、地下-階	
建設地	熊本県玉名郡南関町関下1911-1、1	構造	S造	
用途地域等	都計外(準都計外)	平均居住人員	30 人	
省エネ:地域区分	6地域	年間使用時間	3,000 時間/年	
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工時期	2023年7月 予定	評価の実施日	2023年7月13日	
敷地面積	26,233 m ²	作成者	秋山 広人	
建築面積	2,120 m ²	確認日	2023年7月14日	
延床面積	2,133 m ²	確認者	村田 健一	



3 熊本県重点評価結果			== /== .±
■ 重点事項総合評価			評価点
thing the things the	The state of the s		90
	評価点	■熊本県重点評価基準	
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	94.8	判定値(評価点)	ランク表示
【重点事項2】安全安心で暮らしやすい社会の実現	68.7	100点以上 80点以上100点未満	
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	85.7	60点以上80点未満	
【重点事項4】 循環型社会の実現	105.7	40点以上60点未満	&
		※評価点は、100点以	

Page: 1/1 Sheet: 1/5

(**//**5BEE-建築(新 ▮評価結果▮

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)



- ■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
- ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
- ■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
- ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE−建築(新築)2016年版 *富士ダイス株式会社熊本製造所新冶金棟*

評価点が3超の項目

水色セル欄に数値やコメントを記入

⇒Q1~Q3シートやLR1~LR3シートにおける採点の根拠に倣って、要旨を記入してください

スコ	アシート 実施設計段階						
				壬 7.		子 7.	A 4L
配慮	項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	全体
Q	建築物の環境品質			MASSA		MINA	2.7
	室内環境			0.31		-	2.5
1	音環境		1.7	0.15	-	-	1.7
	1.1 室内騒音レベル 1.2 遮音		1.0 1.8	0.40 0.40	-	-	
	1 開口部遮音性能		1.0	0.40		_	
	2 界壁遮音性能		3.0	0.40	-	-	
	3 界床遮音性能(軽量衝擊源)		-	-	-	-	
	4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	-	
	1.3 吸音		3.0	0.20		-	
2	温熱環境 2.1 室温制御		2.2 3.5	0.35 0.50	-	-	2.2
			3.0	0.38	-	_	
	2 外皮性能	※按分計算	5.0	0.25		-	
	3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-	
	2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-	
	2.3 空調方式		1.0	0.30		-	
3	光·視環境		2.7	0.25	-	-	2.7
	3.1 <u>昼光利用</u> 1 昼光率		1.8 1.0	0.43 0.60	-	-	
	2 方位別開口		1.0	-		_	
	3 昼光利用設備		3.0	0.40	-	-	
	3.2 グレア対策		-	-	-	-	
	1 昼光制御	A 40 mm = 1	-	-	-	-	
	3.3 照度	全般照明方式で500k以上	4.0	0.21	-	-	
4	3.4 照明制御		3.0	0.36	-	-	2.0
4	空気質環境 4.1 発生源対策		3.2 3.0	0.25 0.50	-	-	3.2
	1 化学污染物質		3.0	1.00	-	_	
	4.2 換気		3.6	0.30	-	-	
	1 換気量	中央管理方式以外:基準法およびビル管法の1.4倍以上	5.0	0.33	-	-	
	2 自然換気性能		3.0	0.33	-	-	
	3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	-	-	
	4.3 運用管理 1 【CO ₂ の監視		3.0 3.0	0.20 0.50	-	-	
	2 喫煙の制御		3.0	0.50	-	-	
Q2	サービス性能		-	0.30	-	-	3.2
	機能性		2.8	0.40	*	-	2.8
	1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-	
	1 広さ・収納性		3.0	0.33		-	
	2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33		-	
	3 バリアフリー計画 1.2 心理性・快適性		3.0 2.3	0.33 0.30	-	-	
	1.2 心理性・快適性 1 広さ感・景観		1.0	0.30	-		
	2 リフレッシュスペース	1%以上のリフレッシュスペース、自動販売機の計画	5.0	0.33	-	-	
	3 内装計画		1.0	0.33	-	-	
	1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-	
	1 維持管理に配慮した設計	評価する取組みが6~8	4.0	0.50	-	-	
0	■ 2 維持管理用機能の確保 耐用性・信頼性		2.0 3.3	0.50	-	-	3.3
2	耐用性・信頼性 2.1 耐震·免震·制震·制振		3.3	0.30	-	-	3.3
	1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
	2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
	2.2 部品・部材の耐用年数		4.2	0.30	-	-	
	1 躯体材料の耐用年数	00 (7 1))	3.0	0.20	-	-	
	- // - // // // // // // // // // // // // //	30年以上 30年以上	5.0	0.20	-	-	
		20年以上 特に劣化しやすい系統の90%以上の範囲を長寿命化	5.0 5.0	0.10 0.10		-	
	5 空調・給排水配管の更新必要間隔	上位3種の2種類以上にB以上を使用、Eは不使用	5.0 5.0	0.10	-	-	
	6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
	2.4 信頼性		2.8	0.20	-	-	
	1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
	2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
	3 電気設備 4 機械·配管支持方法		3.0 3.0	0.20 0.20		-	
	5 通信・情報設備		2.0	0.20	-		
			۷.0	0.20			

2	상 하	性。面纸	杜		3.9	0.30	_	_	3.9
ا ا		性・更新 1 空間の			5.0	0.30	-		3.9
	J. I		階高のゆとり	3.9m以上	5.0	0.60	-	_	
			空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.09 <1	5.0 5.0	0.40			
	3 2	 2 荷重の		ほぼ全範囲で3500N/m2以上~4500N/m2未満	4.0	0.30			
		2 円 <u>単の</u> 3 設備の		INICE THE COOCHY III DOCKY III DINNA	3.0	0.40	-		
	0.0		クラミッグ 空調配管の更新性		3.0	0.20			
			会排水管の更新性 給排水管の更新性		3.0	0.20			
			電気配線の更新性		3.0	0.20			
			通信配線の更新性		3.0	0.10		_	
			週信配縁の更新性 設備機器の更新性	1	3.0	0.10	-	-	
			以 順		3.0	0.20		_	
00	中 14				3.0		*	-	2.5
		環境(男			_	0.39	-	<u> </u>	2.5
			保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0
			関への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3			ニティへの配慮		2.5	0.30	-	-	2.5
			への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
		7.0	温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
			景境負荷低減性			-		-	3.7
		ルギー			_	0.40	-	-	4.0
			独負荷抑制	BPIm=0.86	4.4	0.01	-	-	4.4
		エネルキ			3.0	0.12	-	-	3.0
			の高効率化	[BEI][BEIm] = 0.63	4.7	0.62	-	-	4.7
4	効率的	的運用			3.0	0.25	-	-	3.0
			宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
		4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
		4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
			宅の評価		-	-	-	-	
			モニタリング	1	-	-	-	-	
			運用管理体制	1		-	-	-	
LR2	資源	・マテリ			-	0.30	-	-	3.8
		源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
		<u> </u>		節水コマ等、省水型機器	4.0	0.40	-	-	
			用・雑排水等の利用		3.0	0.60	+	-	
			雨水利用システム導入の有無	1	3.0	0.70		_	
			雑排水等利用システム導入の有無	1	3.0	0.70		_	
2	非面色		原の使用量削減		4.2				4.0
						II bii	-	-	4.7
						0.60	-	-	4.2
	2.1	1 材料使	[用量の削減		2.0	0.11	-	- - -	4.2
	2.1	1 材料使		構造耐力上主要な部分にリサイクル資材·基礎関連のコン部材に高	2.0 3.0		-	- - -	4.2
_	2.1 2.2	1 材料使 2 既存建	正用量の削減 建築躯体等の継続使用	構造耐力上主要な部分にリサイクル資材:基礎関連のコン部材に高 炉セメントB種	2.0 3.0	0.11	-	- - -	4.2
	2.1 2.2 2.3	1 材料使 2 既存建 3 躯体材	三用量の削減 登築躯体等の継続使用 対におけるリサイクル材の使用	炉セメントB種	2.0 3.0 5.0	0.11 0.22 0.22	-	-	4.2
	2.1 2.2 2.3 2.4	1 材料使 2 既存建 3 躯体材 4 躯体材	団用量の削減 登築躯体等の継続使用 対料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用		2.0 3.0	0.11 0.22	-		4.2
	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5	1 材料使 2 既存建 3 躯体材 4 躯体材 5 持続可	回用量の削減 登築躯体等の継続使用 対におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 「能な森林から産出された木材	炉セメントB種 ビニル床シート、天井岩綿吸音板、押出ポリスチレンフォーム	2.0 3.0 5.0 5.0	0.11 0.22 0.22 0.22	-	- - - -	4.2
	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6	1 材料使 2 既存建 3 躯体材 4 躯体材 5 持続可 6 部材の	田量の削減 業躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み	炉セメントB種	2.0 3.0 5.0 5.0 - 5.0	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22	-	- - - - -	
	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物	1 材料使 2 既存 3 躯体材 4 躯体材 5 持続の 物質含	国用量の削減 登築躯体等の継続使用 対におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 「能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 質材料の使用回避	炉セメントB種 ビニル床シート、天井岩綿吸音板、押出ポリスチレンフォーム	2.0 3.0 5.0 5.0 - 5.0 3.3	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 - 0.22	-	- - - - -	3.3
	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物	1 材料使 2 既存 3 躯体材 5 持納 6 部質含 1 有害物	世用量の削減 建築躯体等の継続使用 対におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 ではな森林から産出された木材 の再利用可能性向上への取組み では、おおいたのでは、 では、おおいたのでは、 では、おおいたのでは、 では、おおいたのでは、 では、おおいたのでは、 では、おおいたのでは、 では、おおいたのでは、 では、おおいたのでは、 では、おおいたのでは、 では、またが、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	炉セメントB種 ビニル床シート、天井岩綿吸音板、押出ポリスチレンフォーム	2.0 3.0 5.0 5.0 - 5.0 3.3 3.0	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.20 0.30	-	- - - - - -	
	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物	1 材料使 2 既存 4 躯体材 5 静材 6 部質 8 を 7	世用量の削減 建築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 「能な森林から産出された木材 の再利用可能性向上への取組み 「材料の使用回避 」質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避	炉セメントB種 ビニル床シート、天井岩綿吸音板、押出ポリスチレンフォーム	2.0 3.0 5.0 5.0 - 5.0 3.3	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 - 0.22	-	- - - - - - -	
	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物	1 材料使建 3 躯体材 5 静 6 部質書物 7 フロン 1	世用量の削減 建築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤	炉セメントB種 ビニル床シート、天井岩綿吸音板、押出ポリスチレンフォーム 内装材と設備が錯綜しない、再利用できるユニット部材	2.0 3.0 5.0 5.0 - 5.0 3.3 3.0 3.5	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 -	-	- - - - - - -	
	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物	1 材料使理 2 既存材 4 躯体材 5 持部材 6 部質含材 7 フロン 1 2	世用量の削減 建築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等)	炉セメントB種 ビニル床シート、天井岩綿吸音板、押出ポリスチレンフォーム	2.0 3.0 5.0 5.0 - 5.0 3.3 3.0 3.5 - 4.0	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50	-	- - - - - - -	
3	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2	1 材料使 2 既存 体材 5 持材 6 部質害ン 1 フロ 2 3	世用量の削減 登集躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 「材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒	炉セメントB種 ビニル床シート、天井岩綿吸音板、押出ポリスチレンフォーム 内装材と設備が錯綜しない、再利用できるユニット部材	2.0 3.0 5.0 5.0 - 5.0 3.3 3.0 3.5	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50		- - - - - - -	3.3
3 LR3	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2	1 材料使建 3 躯体材 5 持部質害物 7 フロー 1 2 3 は 1 外環境	世用量の削減 建築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒	炉セメントB種 ビニル床シート、天井岩綿吸音板、押出ポリスチレンフォーム 内装材と設備が錯綜しない、再利用できるユニット部材 ODP=0.01未満かつGWP=50未満	2.0 3.0 5.0 5.0 - 5.0 3.3 3.0 3.5 - 4.0 3.0	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50	-	- - - - - - - - -	3.3
3 LR3 1	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染中 3.1 3.2	1 材既 4 数 4 数 4 数 4 数 4 数 4 数 4 数 4 数 4 数 4	世田量の削減 建築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒	炉セメントB種 ビニル床シート、天井岩綿吸音板、押出ポリスチレンフォーム 内装材と設備が錯綜しない、再利用できるユニット部材	2.0 3.0 5.0 5.0 - 5.0 3.3 3.5 - 4.0 3.0 - 3.8	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.33	-	- - - - - - - - - -	3.3 3.8
3 LR3 1	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染特 3.1 3.2	1 材 既 体 材 可 の 4 り か で で で で で で で で で で で で で で で で で で	世田量の削減 登築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 ・の配慮 の配慮	炉セメントB種 ビニル床シート、天井岩綿吸音板、押出ポリスチレンフォーム 内装材と設備が錯綜しない、再利用できるユニット部材 ODP=0.01未満かつGWP=50未満	2.0 3.0 5.0 5.0 - 5.0 3.3 3.0 3.5 - 4.0 3.0	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50		- - - - - - - - - - -	3.3
3 LR3 1	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2 地球派 地域环	1 材既 4 5 6 物 7 7 7 1 2 3 境化への活動を 1 2 3 5 6 5 6 5 6 5 6 5 6 6 5 6 6 6 6 6 6 6	世用量の削減 建築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 の再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 への配慮 の配慮 の配慮 を発防止	炉セメントB種 ビニル床シート、天井岩綿吸音板、押出ポリスチレンフォーム 内装材と設備が錯綜しない、再利用できるユニット部材 ODP=0.01未満かつGWP=50未満	2.0 3.0 5.0 5.0 - 5.0 3.3 3.0 3.5 - 4.0 3.0 - 3.8 2.9	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.33		- - - - - - - - - - -	3.3 3.8
3 LR3 1	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染中 3.1 3.2 敷地域 地域取 2.1 2.2	1 材既4 5 6 物 7 23 躯 躯持部質有フロ 23 環化へ気熱4 体続材合書2 3 境化への2 3 境化への5 3 境化への	世田量の削減 建築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 ・の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮	炉セメントB種 ビニル床シート、天井岩綿吸音板、押出ポリスチレンフォーム 内装材と設備が錯綜しない、再利用できるユニット部材 ODP=0.01未満かつGWP=50未満	2.0 3.0 5.0 5.0 - 5.0 3.3 3.0 3.5 - 4.0 3.0 - 3.8 2.9 -	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.33 0.33	- - - - - - - - - - -	- - - - - - - - - - - -	3.3 3.8
3 LR3 1	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染中 3.1 3.2 敷地域 地域取 2.1 2.2	1 材既4 5 6 物目7 27 3 境化料存体 体続材含害ロ1 2 3 境化へ気熱域小温環化へ気熱域大温地	世界量の削減 建築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 ・の配慮 ・の配慮 ・の配慮 ・シアラへの負荷抑制	炉セメントB種 ビニル床シート、天井岩綿吸音板、押出ポリスチレンフォーム 内装材と設備が錯綜しない、再利用できるユニット部材 ODP=0.01未満かつGWP=50未満	2.0 3.0 5.0 5.0 - 5.0 3.3 3.5 - 4.0 3.0 - 3.8 2.9 - 3.0 2.7	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.33 - 0.67 0.33	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	- - - - - - - - - - - - -	3.3 3.8
3 LR3 1	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染中 3.1 3.2 敷地域 地域取 2.1 2.2	1 材既4 5 6 物 7 21 2 3 境・3 躯 矩 持 部 質 有 フ 1 2 3 境・2 3 境・4 体 様 内 の 本 物 2 3 境・2 3 境・5 2 3 境・2 3 境・	世田量の削減 登築躯体等の継続使用 「料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 「能な森林から産出された木材」 「再利用可能性向上への取組み」 「材料の使用回避」 「質を含まない材料の使用 「バロンの回避」 消火剤 発泡剤(断熱材等) 「冷媒 「の配慮」 「染防止」 「強悪化の改善 ンフラへの負荷抑制 「雨水排水負荷低減	炉セメントB種 ビニル床シート、天井岩綿吸音板、押出ポリスチレンフォーム 内装材と設備が錯綜しない、再利用できるユニット部材 ODP=0.01未満かつGWP=50未満	2.0 3.0 5.0 5.0 - 5.0 3.3 3.0 3.5 - 4.0 3.0 - 3.8 2.9 - 3.0 2.7	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.33 0.33 - 0.67 0.33 0.25		- - - - - - - - - - - - - -	3.3 3.8
3 LR3 1	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染中 3.1 3.2 敷地域 地域取 2.1 2.2	1 材既4 5 6 物 1 23 躯 躯持部質有フロ 23 環化へ気熱域 1 2外暖境大温地 1 22 3 境化への汚環イーク	世界量の削減 2年年の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 の再利用可能性向上への取組み が料の使用回避 質を含まない材料の使用 が関係を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 への配慮 の配慮 シアラへの負荷抑制 雨水排水負荷低減 汚水処理負荷抑制	炉セメントB種 ビニル床シート、天井岩綿吸音板、押出ポリスチレンフォーム 内装材と設備が錯綜しない、再利用できるユニット部材 ODP=0.01未満かつGWP=50未満 LCCO2排出量に配慮	2.0 3.0 5.0 5.0 - 5.0 3.3 3.0 3.5 - 4.0 3.0 - 3.8 2.9 - 3.0 2.7	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.33 - 0.67 0.33 0.25 0.25	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	- - - - - - - - - - - - - -	3.3 3.8
3 LR3 1	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染中 3.1 3.2 敷地域 地域取 2.1 2.2	1材大大上大上大上上上 <t< td=""><td>世界量の削減 主義躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 ・の配慮 ・の配慮 ・の配慮 ・ で配慮 ・ でのこの負荷抑制 ・ で、の負荷抑制 ・ で、の負荷抑制 ・ で、の負荷抑制 ・ で、の負荷抑制</td><td>炉セメントB種 ビニル床シート、天井岩綿吸音板、押出ポリスチレンフォーム 内装材と設備が錯綜しない、再利用できるユニット部材 ODP=0.01未満かつGWP=50未満</td><td>2.0 3.0 5.0 5.0 - 5.0 3.3 3.5 - 4.0 3.0 - 3.8 2.9 - 3.0 2.7 3.0 4.0</td><td>0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 - 0.67 0.33 0.25 0.25</td><td>- - - - - - - - - - - - - - - - - - -</td><td>- - - - - - - - - - - - - - - -</td><td>3.3 3.8</td></t<>	世界量の削減 主義躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 ・の配慮 ・の配慮 ・の配慮 ・ で配慮 ・ でのこの負荷抑制 ・ で、の負荷抑制 ・ で、の負荷抑制 ・ で、の負荷抑制 ・ で、の負荷抑制	炉セメントB種 ビニル床シート、天井岩綿吸音板、押出ポリスチレンフォーム 内装材と設備が錯綜しない、再利用できるユニット部材 ODP=0.01未満かつGWP=50未満	2.0 3.0 5.0 5.0 - 5.0 3.3 3.5 - 4.0 3.0 - 3.8 2.9 - 3.0 2.7 3.0 4.0	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 - 0.67 0.33 0.25 0.25	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	- - - - - - - - - - - - - - - -	3.3 3.8
3 LR3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染* 3.1 3.2 地球 2.1 2.2 2.3	材既 躯 解持部質有フロ 2 3 環化へ気熱域 1 2 3 4 4 5 6 4 4 7 9 7 8 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9	世界量の削減 学躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 シスラへの負荷抑制 雨水排水負荷低減 汚水処理負荷抑制 交通負荷抑制 廃棄物処理負荷抑制	炉セメントB種 ビニル床シート、天井岩綿吸音板、押出ポリスチレンフォーム 内装材と設備が錯綜しない、再利用できるユニット部材 ODP=0.01未満かつGWP=50未満 LCCO2排出量に配慮	2.0 3.0 5.0 5.0 - 5.0 3.3 3.5 - 4.0 3.0 - 3.8 2.9 - 3.0 2.7 3.0 4.0 4.0 1.0	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 - 0.67 0.33 0.25 0.25 0.25	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	- - - - - - - - - - - - - - - - -	3.3 3.8 2.9
3 LR3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染中 3.1 3.2 數地球 也球 2.1 2.2 2.3	123456物721234445667782344478999	世界量の削減 登築躯体等の継続使用 対におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 対料の使用回避 関を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 ・の配慮 ・シアラへの負荷抑制 ・ 取ります。 ・ では、 ・	炉セメントB種 ビニル床シート、天井岩綿吸音板、押出ポリスチレンフォーム 内装材と設備が錯綜しない、再利用できるユニット部材 ODP=0.01未満かつGWP=50未満 LCCO2排出量に配慮	2.0 3.0 5.0 5.0 - 5.0 3.3 3.0 3.5 - 4.0 3.0 - 3.8 2.9 - 3.0 2.7 3.0 4.0 4.0 1.0 3.2	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 - 0.67 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33		- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.3 3.8
3 LR3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染中 3.1 3.2 數地球 也球 2.1 2.2 2.3	1234567723333442料存体体体体体体大温大温上よよ	世界量の削減 学躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 が 別 発泡剤(断熱材等) 冷媒	炉セメントB種 ビニル床シート、天井岩綿吸音板、押出ポリスチレンフォーム 内装材と設備が錯綜しない、再利用できるユニット部材 ODP=0.01未満かつGWP=50未満 LCCO2排出量に配慮	2.0 3.0 5.0 5.0 - 5.0 3.3 3.0 3.5 - 4.0 3.0 - 3.8 2.9 - 3.0 2.7 3.0 4.0 1.0 1.0	0.11 0.22 0.22 0.22 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 - 0.67 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33 0.40		- - - - - - - - - - - - - - - - -	3.3 3.8 2.9
3 LR3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染中 3.1 3.2 數地球 也球 2.1 2.2 2.3		世界量の削減 学躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 質を含まない材料の使用 できまない材料の使用 が 別 発泡剤(断熱材等) 冷媒 の配慮 や での配慮 か で	炉セメントB種 ビニル床シート、天井岩綿吸音板、押出ポリスチレンフォーム 内装材と設備が錯綜しない、再利用できるユニット部材 ODP=0.01未満かつGWP=50未満 LCCO2排出量に配慮	2.0 3.0 5.0 5.0 - 5.0 3.3 3.0 3.5 - 4.0 3.0 - 3.8 2.9 - 3.0 2.7 3.0 4.0 4.0 1.0 3.2	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 - 0.67 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33		- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.3 3.8 2.9
3 LR3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染中 3.1 3.2 數地球 也球 2.1 2.2 2.3	123456778123461料存体体続材含害ロ123環化へ気熱域1234へ音123461財務41123401日本11123401日本1123401日本1123401日本113401日本134011日本13401日本13401日本13401日本13401日本13401日本13401日本13401日本13401日本13401日本13401日本13401日本13401日本13401日本13401日本13401日本13401日本13401日本13401 <td>世界量の削減 学躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み で 大村の使用回避 で きまない材料の使用 で かい の回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 の配慮 の配慮 を で で で で で で で で で で で で で で で で で で</td> <td>炉セメントB種 ビニル床シート、天井岩綿吸音板、押出ポリスチレンフォーム 内装材と設備が錯綜しない、再利用できるユニット部材 ODP=0.01未満かつGWP=50未満 LCCO2排出量に配慮</td> <td>2.0 3.0 5.0 5.0 - 5.0 3.3 3.0 3.5 - 4.0 3.0 - 3.8 2.9 - 3.0 2.7 3.0 4.0 1.0 1.0</td> <td>0.11 0.22 0.22 0.22 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 - 0.67 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33 0.40</td> <td></td> <td>- - - - - - - - - - - - - - - - - - -</td> <td>3.3 3.8 2.9</td>	世界量の削減 学躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み で 大村の使用回避 で きまない材料の使用 で かい の回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 の配慮 の配慮 を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	炉セメントB種 ビニル床シート、天井岩綿吸音板、押出ポリスチレンフォーム 内装材と設備が錯綜しない、再利用できるユニット部材 ODP=0.01未満かつGWP=50未満 LCCO2排出量に配慮	2.0 3.0 5.0 5.0 - 5.0 3.3 3.0 3.5 - 4.0 3.0 - 3.8 2.9 - 3.0 2.7 3.0 4.0 1.0 1.0	0.11 0.22 0.22 0.22 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 - 0.67 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33 0.40		- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.3 3.8 2.9
3 LR3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3.1 3.2 數地球 2.1 2.2 2.3 周辺球 3.1	1456物7材既 躯 躯持部質有フロ 2 3環化へ気熱域1 2 3 4 へ音1 2 3 4	世界量の削減 登築躯体等の継続使用 特におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 の配慮 ・シスラへの負荷抑制 雨水排水負荷低減 汚水処理負荷抑制 交通負荷抑制 廃棄物処理負荷抑制 交通負荷抑制 廃棄物処理負荷抑制 を主要の防止 騒音 振動・悪臭の防止	炉セメントB種 ビニル床シート、天井岩綿吸音板、押出ポリスチレンフォーム 内装材と設備が錯綜しない、再利用できるユニット部材 ODP=0.01未満かつGWP=50未満 LCCO2排出量に配慮	2.0 3.0 5.0 5.0 - 5.0 3.3 3.0 3.5 - 4.0 3.0 - 3.8 2.9 - 3.0 2.7 3.0 4.0 1.0 1.0	0.11 0.22 0.22 0.22 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 - 0.67 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33 0.40		- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.3 3.8 2.9
3 LR3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3.1 3.2 數地球 2.1 2.2 2.3 周辺球 3.1	1	世界量の削減 学躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 できまない材料の使用 が 発泡剤(断熱材等) 冷媒 の配慮 の配慮 か配慮 か配慮 か配慮 が かいり では かっかり では かっかり では できまない がまれ から できます いっか	炉セメントB種 ビニル床シート、天井岩綿吸音板、押出ポリスチレンフォーム 内装材と設備が錯綜しない、再利用できるユニット部材 ODP=0.01未満かつGWP=50未満 LCCO2排出量に配慮	2.0 3.0 5.0 5.0 - 5.0 3.3 3.0 3.5 - 4.0 3.0 - 3.8 2.9 - 3.0 2.7 3.0 4.0 1.0 1.0	0.11 0.22 0.22 0.22 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 - 0.67 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33 0.40		- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.3 3.8 2.9
3 LR3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3.1 3.2 數地球 2.1 2.2 2.3 周辺球 3.1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	世界量の削減 学躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 質を含まない材料の使用 できまない材料の使用 が 別 発泡剤(断熱材等) 冷媒 の配慮 の配慮 か 記憶 できまない が 単位 できまない できまない できまない できまない が 単位 できまない できまな	炉セメントB種 ビニル床シート、天井岩綿吸音板、押出ポリスチレンフォーム 内装材と設備が錯綜しない、再利用できるユニット部材 ODP=0.01未満かつGWP=50未満 LCCO2排出量に配慮	2.0 3.0 5.0 5.0 5.0 3.3 3.0 3.5 - 4.0 3.0 - 3.8 2.9 - 3.0 4.0 1.0 3.2 3.0 3.0 3.0	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 - 0.67 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33 0.40 1.00		- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.3 3.8 2.9
3 LR3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3.1 3.2 數地球 2.1 2.2 2.3 周辺球 3.1	1 23 4 5 6 物 1 2外温環 1 2 3 4 0 6 1 2 3 ま 1 3 ま 1 2 3 ま 1 3 ま 1 2 3 ま 1 3 ま 1 2 3 ま 1	世界量の削減 学躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み で 大村の使用回避 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	炉セメントB種 ビニル床シート、天井岩綿吸音板、押出ポリスチレンフォーム 内装材と設備が錯綜しない、再利用できるユニット部材 ODP=0.01未満かつGWP=50未満 LCCO2排出量に配慮	2.0 3.0 5.0 5.0 5.0 3.3 3.0 3.5 4.0 3.0 - 3.8 2.9 - 3.0 4.0 1.0 3.2 3.0 3.0 - 3.2 3.0	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 - 0.67 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.40 1.00 0.40		- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.3 3.8 2.9
3 LR3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3.1 3.2 數地球 2.1 2.2 2.3 周辺球 3.1	1 23 4 5 6 物 1 2外温環 1 2 3 4 0 6 1 2 3 ま 1 3 ま 1 2 3 ま 1 3 ま 1 2 3 ま 1 3 ま 1 2 3 ま 1	世界量の削減 学躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 質を含まない材料の使用 できまない材料の使用 が 別 発泡剤(断熱材等) 冷媒 の配慮 の配慮 か 記憶 できまない が 単位 できまない できまない できまない できまない が 単位 できまない できまな	炉セメントB種 ビニル床シート、天井岩綿吸音板、押出ポリスチレンフォーム 内装材と設備が錯綜しない、再利用できるユニット部材 ODP=0.01未満かつGWP=50未満 LCCO2排出量に配慮	2.0 3.0 5.0 5.0 5.0 3.3 3.0 3.5 4.0 3.0 - 3.8 2.9 - 3.0 4.0 1.0 3.2 3.0 3.0 - 3.2 3.0	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 - 0.67 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.40 1.00 0.40		- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.3 3.8 2.9
3 LR3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 2.1 2.2 2.3 周辺野 3.1	1 23 4 5 6 物 1 2外温環 1 2 3 4 0 6 1 2 3 ま 1 3 ま 1 2 3 ま 1 3 ま 1 2 3 ま 1 3 ま 1 2 3 ま 1	世界量の削減 登築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 の配慮 ・システークの負荷抑制 雨水焼理負荷抑制 交通負荷抑制 廃棄物処理負荷抑制 交通負荷抑制 廃棄物処理負荷抑制 廃棄物処理負荷抑制 を強動・悪臭の防止 騒音 振動 悪臭 砂塵、日照阻害の抑制 風害の抑制 回路の抑制	炉セメントB種 ビニル床シート、天井岩綿吸音板、押出ポリスチレンフォーム 内装材と設備が錯綜しない、再利用できるユニット部材 ODP=0.01未満かつGWP=50未満 LCCO2排出量に配慮	2.0 3.0 5.0 5.0 5.0 3.3 3.5 - 4.0 3.0 - 3.8 2.9 - 3.0 4.0 1.0 3.2 3.0 3.0 4.0 1.0 3.2 3.0 3.0	0.11 0.22 0.22 0.22 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 - 0.67 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.40 1.00 - 0.40 0.70 - 0.40 0.70 -		- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.3 3.8 2.9
3 LR3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 2.1 2.2 2.3 周辺野 3.1	1 23 4 5 6 物 2外温環1 2 3 4 4 6 6 9対既 躯 躯持部質有フロ 2 3 環化へ気熱域 1 2 3 4 へ音 1 2 3 害 1 2 3 害 0供建 材 付 の で 本物 ン	世界量の削減 登築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み が大利の使用回避 できまない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 ・の配慮 ・シアラへの負荷抑制 ・放理負荷抑制 ・交通負荷抑制 ・変通負荷抑制 ・変通負荷抑制 ・変通負荷抑制 ・変通負荷抑制 ・変通負荷抑制 ・変通負荷抑制 ・変通負荷抑制 ・変通りで配慮 ・振動・悪臭の防止 ・騒音 ・振動・悪臭の防止 ・振動・悪臭の防止 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	炉セメントB種 ビニル床シート、天井岩綿吸音板、押出ポリスチレンフォーム 内装材と設備が錯綜しない、再利用できるユニット部材 ODP=0.01未満かつGWP=50未満 LCCO2排出量に配慮	2.0 3.0 5.0 5.0 5.0 - 5.0 3.3 3.0 3.5 - 4.0 3.0 - 3.8 2.9 - 3.0 3.0 4.0 1.0 3.2 3.0 3.0 - 3.0 3.0 4.0 3.0 - 3.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 - 0.67 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33 0.40 1.00 - 0.40 0.70 - 0.30		- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.3 3.8 2.9
3 LR3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 2.1 2.2 2.3 周辺野 3.1	1 23 4 5 6 物 2外温環1 2 3 4 4 6 6 9対既 躯 躯持部質有フロ 2 3 環化へ気熱域 1 2 3 4 へ音 1 2 3 害 1 2 3 害 0供建 材 付 の で 本物 ン	世界量の削減 登築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み が大利の使用回避 できまない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 ・の配慮 ・シアラへの負荷抑制 ・放理負荷抑制 ・交通負荷抑制 ・変通負荷抑制 ・変通負荷抑制 ・変通負荷抑制 ・変通負荷抑制 ・変通負荷抑制 ・変通負荷抑制 ・変通負荷抑制 ・変通りで配慮 ・振動・悪臭の防止 ・騒音 ・振動・悪臭の防止 ・振動・悪臭の防止 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	炉セメント8種 ビニル床シート、天井岩綿吸音板、押出ポリスチレンフォーム 内装材と設備が錯綜しない、再利用できるユニット部材 ODP=0.01未満かつGWP=50未満 LCCO2排出量に配慮 スペースやサービス用の確保、導入路の工夫 チェックリストの過半を満たす、広告物照明はない	2.0 3.0 5.0 5.0 5.0 3.3 3.0 3.5 - 4.0 3.0 - 3.8 2.9 - 3.0 2.7 3.0 3.0 4.0 1.0 3.2 3.0 3.0 - 3.0 3.0 4.0 4.0 4.4	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 - 0.67 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.3 3.8 2.9

熊本県重点評価結果スコアシート ※手動入力は不要

実施設計段階

建物名称 *富士ダイス株式会社熊本製造所新冶金棟*

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本≪新築≫2017年版

	熊本県重点評価結果				総	合評価点	90	
重.	重点事項					重点事項	₹####################################	
	重点項目(配原	撤項目)	スコア	重み 係数	評価点	重み係数	評価配点	
1	温室効果ガス	排出量削減の推進						
	Q1-2.1.2	外皮性能	5.0	0.11				
	Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.11				
	Q1-3.2.1	昼光制御	0.0	0.00				
	LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	4.4	0.01	94.8	0.40	37.92	
	LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.22				
	LR1-3	設備システムの高効率化	4.7	0.33				
	LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.11				
	LR3-2.3.3	交通負荷抑制	4.0	0.11				
2	② 安全安心で暮らしやすい社会の実現							
	Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25				
	Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25	68.7	0.20	13.74	
	Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.15	00.7	0.20	13.74	
	Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.20				
	LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15				
3	県の地域資源	の有効活用と保全						
	Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.29				
	LR2-1.1	節水	4.0	0.43	85.7	0.20	17.14	
	LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.29				
	LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	0.0	0.00				
4	④ 循環型社会の実現							
	Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	4.2	0.30				
	Q2-3	対応性·更新性	3.9	0.30	105.7	0.20	21 14	
	LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10	100.7	0.20	21.14	
	LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	5.0	0.15				
	LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	5.0	0.15				

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点×各重点事項の重み係数)の総和 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①~④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア×各重点項目の重み係数)の総和×(5/4)×20

※重み係数の総和は、「1」であること。

※(5/4)×20:スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数

Page : 1/1 Sheet : 5/5

■ 環境関連の配慮事項

冨士ダイス株式会社熊本製造所新冶金棟

印刷:モノクロ 設定済み

- ・適宜、箇条書き等で記入してください。
- キーボード操作: 改行の際は<u>【Alt】キー&【Enter】キー</u>で次の行に進みます。

	・ナーホート操作: 改打の除は <u>(Ait)ナー&[Enter]ナー</u> で次の打に進みます。
	計画上の配慮事項 ※必ず、何らかのコメントを記入してください。
総合	・LR1省エネルギー性能、及びLR2資源マテリアルの面を中心に環境に配慮した
Q1 室内環境	・適切な断熱仕様、照度設定で利用者の快適性に配慮
Q2 サ ー ビス性能	・十分な階高、壁長さ比、積載荷重で設定でフレキシビリティに配慮
Q3 室外環境 (敷地内)	・特になし
LR1 エネルギー	・高効率設備の採用で省エネ性能に配慮
LR2 資源・マテリアル	・節水器具やリサイクル材の採用により省資源に配慮
LR3 敷地外環境	・LCCO2排出量に配慮
その他	ト特になし